

## 交遊抄

## でっかい太陽 加藤 照和

米アリゾナ州ペイソンで活躍するギター  
ストのビリー市田さんと、「障がい者から  
チャレンジドへ。」を掲げる社会福祉法人  
プロップ・ステーション理事長の竹中ナミ  
さん姉弟には、会うたびに元気をもらおう。  
私が本社で米国子会社を担当していた30  
代の頃、ビリーは現地法人の社員。その後、  
海外子会社の清算に関わり、つらいことも  
あったが、いつも前向きで明るいビリーは  
私にとって太陽のような存在だった。

米国子会社の社長として赴任してからは  
家族ぐるみの付き合いとなった。アーティ  
ストを目指していたビリーは、その後退社  
し、夢を実現させた。そんなビリーに東京  
・品川の居酒屋で紹介してもらったのが彼  
の姉、ナミねえ。さらにでっかい太陽だ。

いまも年に一度ビリーの帰国に合わせて  
開かれるパーティーと翌日のプライベート  
ライブには必ず参加している。私の家族や  
米国で苦勞をともし乗り越えた会社の仲間  
も一緒だ。お気に入りにはナミねえが歌うシ  
ヤンソンの「ろくでなし」。パワフルな歌  
声に、ビリーのギターが加わり心地いい。

ビリーが住むペイソンの山の上の一軒家  
に家族で泊めてもらったのはいい思い出。

周囲は国立公園で、道なき道を進む家路は  
アドベンチャーさながらだった。最近の日  
本で会うばかりだが、また遊びに行きたい。  
(かとう・てるかずツムラ社長)